鹿野町総合支所「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画　進捗チェック状況

項目名	事業概要	目標【基本計画・施策】	推進期間 ～H29年度	～R元年度	～R5年度	短期（～H29年度）における総括 成果（何をどれだけ）	短期（～H29年度）における総括 次年度以降への課題・方向性	H30年度 実施内容	予算額（千円）	決算額（千円）	目標達成度	事業の方向性	R元年度 実施内容	予算額（千円）	決算額（千円）	目標達成度	事業の方向性	中期（～R元年度）における総括 成果（何をどれだけ）	中期（～R元年度）における総括 次年度以降への課題・方向性	R2年度（実績） 実施内容	予算額（千円）	決算額（千円）	目標達成度	事業の方向性	R4年度 実施内容	予算額（千円）	決算額（千円）	目標達成度	事業の方向性	R5年度 実施計画	R5年度 実施内容	予算額（千円）	決算額（千円）	目標達成度	事業の方向性	長期（～R5年度）における総括 成果（何をどれだけ）	長期（～R5年度）における総括 今後の課題・方向性	担当課（支所・本課）
①地場産業の振興	農畜産物の振興	地域ブランドの確立と生産振興及び販路拡大 【農林水産業の成長産業化】	○販売促進動の推進	○生産拡大	○特産物の振興開拓・拡大との次産業化	●鹿野そばの知名度には定評があり、市商品の開発及び各種イベントでのPRにより、更なるブランドたに取り組んでいた。 ●大阪ATCで開催される商談会を通じ、鹿野の生産が注目され、今後の販路の拡げに期待できる。 ●鹿野地域については、隣接PR等に取り組んでおり、北方の新商品開発までに至らなかった。	●新商品も開発され販路拡大が期待されるが、現在鹿野産そば及びなを重ないずれも不足している状況であるため、今後の生産量の増加が急がれる。 ●鹿野地域のブランド化・販売促進に向けた取り組みは引き続き行う。	●一心屋と共同でそば粉を使用した菓子「ビスコッティ」を開発した。 ●蕎麦の生産ペロップに西地域産イチゴを加えた新たな生産シロップを開発した。 ●鹿野地ばりに合の生産体制を推進し、新会社設立によるブランド化・販売促進を図った。	-	-	B.概ね達成	3.現状維持	●そば加工品等の開発支援 ・かりんぼう ・そばぼんぼん ・とり南蛮（カレー）そば　他 ●生産加工品等の開発支援 ・生姜シロップ ・和菓子（室月堂・戸倉商店） ・しょうが飴　他 ●鹿野地ばりのブランド化・販売促進支援（生産費11,000円） ・地蔵村。 ・地蔵そば　他 ●活性イチゴのブランド化・販売促進支援（生産費2,500円） ・イチゴスター（五高南ヶ山）　他	C.未達	2.改善継続	●そば加工品等の開発支援 ・かりんぼう ・そばぼんぼん ・とり南蛮（カレー）そば　他 ●生産加工品等の開発支援 ・生姜シロップ ・和菓子（室月堂・戸倉商店） ・しょうが飴　他 ●鹿野地ばりのブランド化・販売促進支援（生産費12,093円） ①鳥取地ばりブランド生産拡大支援事業 事業主体：(株)鹿野地鶏 実績：2,023千円 ・食鳥処理に係る鶏舎排糞設備の支援 ・地鶏のPR、販売活動費の支援 ②加工品等 ・地鶏カレー、地鶏そば　他 ●活性イチゴの販売促進支援（生産量20,340個） ①販売先 ・スーパーマーケット ・洋菓子屋、和菓子屋 ②加工品等 ・イチゴス塩、イチゴミルクのもと　他 ●ジビエのブランド化・販売促進 ①イベント出展によるPR シンボリンの命によるイノシシ、シカ肉料理等 の販売 ②加工品等 ・イノシシカレー（図州しし肉）	2,457	2,023	B.概ね達成	3.現状維持	●鹿野そばの販売促進支援 ①加工品等 ・そばかりんぼう、そばガレット　他 ●生産の販売促進支援 ①加工品等 ・しょうがパウダー、しょうがシロップ ・和菓子（室月堂、戸倉商店）他 ●活性イチゴの販売促進支援（生産量12,093個） ①鳥取地ばりブランド生産拡大支援事業 事業主体：(株)鹿野地鶏 実績：2,023千円 ・食鳥処理に係る鶏舎排糞設備の支援 ・地鶏のPR、販売活動費の支援 ②加工品等 ・地鶏カレー、地鶏そば　他 ●活性イチゴの販売促進支援（生産量20,340個） ①販売先 ・スーパーマーケット ・洋菓子屋、和菓子屋 ②加工品等 ・イチゴス塩、イチゴミルクのもと　他 ●ジビエのブランド化・販売促進 ①イベント出展によるPR シンボリンの命によるイノシシ、シカ肉料理等 の販売 ②加工品等 ・イノシシカレー（図州しし肉）	A.達成	3.現状維持	●鹿野地域の生産拡大及び販売促進支援 ①鳥取地ばりブランド生産拡大支援事業 事業主体：(株)鹿野地鶏 予算額　3,940千円 ・生産に必要な施設整備の支援 ・食鳥処理に係る鶏舎排糞設備の支援 （内訳）1,448千円（建築等整備） ・食鳥処理に係る鶏舎排糞機器の支援 （内訳）1,406千円（食鳥処理機等） ・地鶏のPR、販売活動費の支援 （内訳）580千円（広告宣伝等） ●活性イチゴの生産拡大及び販売促進支援 ①企業立地促進補助金 事業主体：(株)メイワフーズHYBRID 予算額　15,000千円（R5.R6） 実績　0千円（5年度実績なし） R5の環境なし、向に4棟増設予定 R5の生産実績18.6 収量8.12t ②日本酒醸造用米の生産拡大及び販売促進支援 ①コメ新市場開拓等促進事業 事業者：3生産者 実績　1生産者　820千円 面積2.05ha 出荷・販売数量実績11.0t ②加工品等商品開発及び販売促進支援 ①鳥の農産文化交流創造支援事業 ・地域・観光資源のコラボ新商品開発、 ・大阪新規販路開 町内4店舗で提供 （そのそば・鳥飼料・青ジ等） ②鳥肉料理支援（しかのバーガー 3時々（鳥の唐揚＋TONDOKOクッキー） ④夢こみち（ひよこ白玉） ⑤地鶏野菜鍋（図州鹿野地鶏の鳥取の恵位立てセット） ●鹿野そば等の加工品開発及び販売促進 ・そばかりんぼう、そばガレット　他 ●ジビエのブランド化・販売促進 ①イベント出展によるPR シンボリンの命によるイノシシ、シカ肉料理等の販売 ②加工品等 ・イノシシカレー（図州しし肉）	24,276	4,754	C.未達	2.改善継続	特産物の振興開拓・拡大との次産業化に向けた取組み ●鹿野地鶏 嗜みもさと鹿野の運営から離れるよう、地ひよこたちの育成を加え体制（無農野地鶏）となり、イベント出店や外の情報収集に行われ、知名度向上及び販路拡大に繋がった。また鹿野の常に地域性の向上などと産体制の強化も図られた。 ●温泉いちご R2より農業参入した株メイワファームHYBRIDが鹿野町の地域資源である温泉熱を活用した「温泉いちご」の栽培を開始、安定した収量の確保により加工品を含む販路拡大が図られ、道の駅や特産菓子屋などで対評を得ている。また、R5より開始したハウスで新り体験（12年間1,500人が訪れた。 R5生産面積：18.6ha R5収量：8.12t ●生姜 認知を重に知る、エクルズ大神の新規参入で収量の確保が図られた。合わせて加工品販売が道の駅などで評価を得ている。 R5生産面積：124ha R5収量：1.94t ●ジビエ シンボリンの命によるイノシシ肉（図州しし肉）やシカ肉の製造や、鳥飼料による新たな商品開発に取り組んでいる。 ・レトルトカレー肉の県外出荷（図州しし肉カレー） ・県庁食堂などの市内飲食店への販売 ・イベントへの継続的な参加によるPR活動	地場産業の再生及び耕作放棄地の解消対策として、鹿野地の生産拡大を目指すとともに、安定した供給量に合わせた販路開拓など、鹿野拡大に向けたPR等支援を行う。	・農野総合支所 産業建設課 農政企画課 ・経済・雇用戦略課 ・企業立地・支援課
							●有害鳥獣駆除体制の整備とジビエの有効利用について、地元シンポジウムの活動によって、捕獲、解体処理、販売に至るまでの仕組みが定着した。	●引き続き、いなばのジビエ推進協議会と連携し、鹿肉地産で捕獲されたイノシシ・シカの有効活用と、解体処理者の技術向上を図る。 ●会社等への設置狩猟者は、農業従事者とはべつで有害鳥獣捕の実効動時間が少ない、定年退職後の農業従事者をターゲットに狩猟者の確保を図る。	●いなばのジビエ推進協議会と連携して活動；解体技術講習会、先進地視察実施等。 ジビエ加工： ・申請者向け解体処理研修（7/14） ・初心者向け解体処理研修（7/21） ・とっとりジビエ推進コンソーシアム参加（8/27） ・ペペキャロイタリア版木下シェフ等による ジビエ料理教室（1/引き小切） ・とっとり狩肉カーニバル（10/27）、イノニク感謝祭（11/24,25）等各種フェア参加 ●新規捕獲者数等　2名	-	-	B.概ね達成	1.現状維持	●解体技術講習会 鹿野町イノシシ食肉解体処理施設にて1回実施 ●狩猟者新規捕獲者数等 0人（目標　3人） ●ジビエ利用調査 ・市内　　2箇所 ・食肉向け4t ・イノシシ21頭 ・食肉2.7t ●ジビエ商品 ・猪肉ハム ・猪ソーセージ ・鹿ソーセージ　他	-	A.達成	3.現状維持	●解体技術講習会 鹿野町イノシシ食肉解体処理施設にて1回実施 ●狩猟者新規捕獲者数等 4人（目標　3人） ●ジビエ利用調査 ・市内　　2箇所 ・食肉向け4t ・イノシシ21頭 ・食肉2.7t ●ジビエ商品 ・猪肉ハム ・猪ソーセージ ・鹿ソーセージ　他	-	-	A.達成	3.現状維持													
①地場産業の振興	農畜産物の振興	地域ブランドの確立と生産振興及び販路拡大 【農林水産業の成長産業化】	○そば、生姜及び白ネギの生産拡大	○道の駅との連携による販路拡大とお次産業化を目指した新たな加工品の開発	○特産物の安定供給及び生産拡大	●そば生産拡大の取り組みは、平成29年度末50haを目標に掲げ、4.0ha（▲3.7ha）であった。 ●生姜生産拡大の取り組みは、平成29年度末3haを目標に掲げ、1ha（▲2ha）であった。	●鹿野そば道場におけるそばの使用について、秋田・北海道産のそばを使用している現状であり、鹿野産そばの生産拡大が急がれる。 ●生姜は加工品としての需要が伸びており、生姜の生産拡大が急がれる。	●そば栽培における収穫の効率化を推進し、新たに生産性向上対策を実施した面積へ の拡大を目指す。 ・目標面積　5.0ha ●生姜生産拡大推進委員会を開催し、収量増、栽培面積拡大を推進した。 ・目標面積　3ha→1ha	-	-	C.未達	2.改善継続	●そば栽培の拡大 面積22ha（目標50ha） ●生姜栽培の拡大 面積　1ha（目標　3ha）	-	C.未達	2.改善継続	●そば栽培の拡大 面積3.9ha（目標50ha作付）・収量12t ●生姜栽培 ・面積0.65ha（目標3ha作付）・収量14.4t ●イチゴ栽培 ・20,340株（目標20,000株）・収量7.1t	-	B.概ね達成	3.現状維持	●そば栽培 ・面積4.3ha（目標50ha作付）・収量12t ●生姜栽培 ・面積0.65ha（目標3ha作付）・収量14.4t ●イチゴ栽培 ※とって却き 20,340株（目標20,000株）・収量7.1t	-	B.概ね達成	2.改善継続	●そば栽培 （目標50ha作付） ●生姜栽培 （目標2ha作付） ●イチゴ栽培 （目標24,240株）	-	-	B.概ね達成	2.改善継続	鹿野そばの生産は安定しており現在の需要に対して十分な収量を確保している。生姜の生産は、生産者が2ヒットに安定的な収量が確保出来ている。	地場産業の再生及び耕作放棄地の解消対策として、鹿野地の生産拡大を目指すとともに、安定した供給量に合わせた販路開拓など、鹿野拡大に向けたPR等支援を行う。	・農野総合支所 産業建設課 農政企画課
②交流人口の増加	鹿野民芸音楽祭や鳥の演劇祭などの継続開催 【文化芸術による まちづくりの推進】	○関催支援の継続	○関催支援の継続	○関催支援の継続	○身近に文化を感じることができる環境作り	●鹿野町民音楽祭は31回、鳥の演劇祭は10回と創業工夫を重ねながら、継続開催されてきた。この中、長期文化の発掘にもとより、地域を支える人財育成、学校教育、国内外への情報発信、鳥取市の知名度アップに貢献した。	●鹿野町民音楽祭は31回、鳥の演劇祭は10回と創業工夫を重ねながら、継続開催されてきた。この中、長期文化の発掘にもとより、地域を支える人財育成、学校教育、国内外への情報発信、鳥取市の知名度アップに貢献した。 ●課題：運営に係る自己財源の確保 ●方向性：引き続き継続開催に向けた支援を行う。	●鹿野町民音楽祭等事業補助金 第33回鹿野ふるさとミュージカル上演「踊り見の城～もう一つの説様攻略編～」 ・日時　平成30年8月10日 ・年後10年 ・場所　鳥取市民会館 ・観客数　538人 ・「鳥の演劇祭12」「BloSeTo演劇祭」開催支援 ・令和元年8月4日～23日 ・観客数4,652人	4,350	4,350	A.達成	1.現状維持	●鹿野町民音楽祭等事業補助金 第33回鹿野ふるさとミュージカル上演「踊り見の城～もう一つの説様攻略編～」 ・日時　平成30年8月10日 ・年後10年 ・場所　鳥取市民会館 ・観客数　538人 ・「鳥の演劇祭12」「BloSeTo演劇祭」開催支援 ・令和元年10月24日～11月17日	-	C.未達	2.改善継続	●鹿野町民音楽祭等事業補助金 第33回鹿野ふるさとミュージカル上演「踊り見の城～もう一つの説様攻略編～」 ・日時　平成30年8月10日 ・年後10年 ・場所　鳥取市民会館 ・観客数　538人 ・「鳥の演劇祭12」「BloSeTo演劇祭」開催支援 ・令和元年10月24日～11月17日	4,200	980	B.概ね達成	2.改善継続	●第34回鹿野町民音楽祭は、コロナ禍に中止。 ●「第13回鳥の演劇祭」開催支援 ・令和2年8月1日～27日	4,200	2,864	B.概ね達成	2.改善継続	●第37回鹿野町民音楽祭開催支援 ●「第16回鳥の演劇祭」開催支援	4,200	2,864	B.概ね達成	2.改善継続	●第37回鹿野町民音楽祭開催支援（2/25） ・「第16回鳥の演劇祭」開催支援（9/14～11/1） ●舞場劇場（鹿野町総合支所3階）開催支援（2/9～25）	4,200	4,200	A.達成	3.現状維持	鹿野町民音楽祭及び鳥の演劇祭を開催した。 鹿野町民文所5階を鳥の劇場として開放した。舞場劇場として開催した。	・後も継続開催を続け、更なる発展を目指す。 ・鹿野町民文所5階を鳥の劇場として開放し、舞場劇場として開催する。	・農野総合支所 産業建設課 ・文化交流課
	アーティスト・イン・レジデンシアの推進 【文化芸術による まちづくりの推進】	○制作場所や展示場所の提供と情報発信	○制作場所や展示場所の提供と人材確保	○身近に文化を感じることができる環境作り		●NPO法人鳥の劇場への活動支援として、公演後場などに公共施設を提供した。また、応募数が学校体育館の耐震化・劇場化・改修工事期に、信名が出る場所は意識を実施した。 ●アーティスト1名を対象に、鹿野地区のミニ工房施設をアトリエとして制作活動を開始した。	●課題：運営に係る自己財源の確保 ●方向性：引き続き継続開催に向けた支援を行う。	●NPO法人鳥の劇場への活動支援 ・公演後場提供 鹿野町総合支所 鹿野住来交流館童夢亭 ・制作場所提供 旧鹿野幼稚園 旧鹿野中学校体育館 鹿野地区コミュニティ施設 勝谷地区コミュニティ施設	-	-	B.概ね達成	1.現状維持	●NPO法人鳥の劇場への活動支援 活動拠点の提供・広報支援 ・鹿野町総合支所 ・鹿野住来交流館童夢亭 ・制作場所提供 ・鹿野幼稚園 ・鹿野地区コミュニティ施設 ・勝谷地区コミュニティ施設 ・鹿野人口創出拡大事業と連携して支援	-	B.概ね達成	2.改善継続	●NPO法人鳥の劇場への活動支援 活動拠点の提供・広報支援 ・鹿野町総合支所 ・鹿野住来交流館童夢亭 ・制作場所提供 ・鹿野幼稚園 ・鹿野地区コミュニティ施設 ・勝谷地区コミュニティ施設 ・鹿野人口創出拡大事業と連携して支援	-	B.概ね達成	2.改善継続	●NPO法人鳥の劇場への活動支援 活動拠点の提供・広報支援 鹿野町総合支所 広報支援、補助制度活用の支援 ●鹿野芸術祭への支援 広報支援	-	A.達成	2.改善継続	●NPO法人鳥の劇場への活動支援 活動拠点提供により、印校舎・幼稚園施設を譲渡し、新施設設置のため校舎の一部移転、ならびに、自治会館の一部移転を行った。当行して、「旧鹿野小学校跡地利活用検討委員会」で住民代表から意見を聞いた。計画及び事業実施に反映した。 また、通信すくも種プロ事業の実施に対してサポートを行った。 ●鹿野芸術祭への支援 広報支援	51,900	51,900	A.達成	2.改善継続	●NPO法人鳥の劇場への活動支援 R3の旧鹿野小あり方検討、続いて利活用検討を行うので地域住民代表の意見をとり、施設整備者にご意見を求めた。 ●鹿野芸術祭への支援 鹿野芸術祭に協力地域内での活動周知を図った。	●NPO法人鳥の劇場への活動支援 R3の旧鹿野小あり方検討、続いて利活用検討を行うので地域住民代表の意見をとり、施設整備者にご意見を求めた。 R7末に施設整備が完了する。これから、施設を地域の拠点として、地域住民に利用、今後一層の関係・交流人口の拡大に努める。 広場については地域公園と一体として管理できるよう、諸行機能を含む検討が必要である。 ●鹿野芸術祭への支援 鹿野芸術祭に協力地域内での活動周知を図った。	・農野総合支所 地域振興課 ・文化交流課 ・市民生活部 地域振興課
	鳥非誘引の継承 【文化芸術による まちづくりの推進】	○小中学校と連携した取り組みの検討	○鹿野学園、鳥非誘引保存会と連携した後継者の育成	○鹿野学園、鳥非誘引保存会と連携した後継者の育成		●鳥非誘引保存会が、いくんしょう鹿野踊誘において、鳥非誘引を演奏した。	●課題：活動拠点の中には、老朽化が顕著なものがある。 ●方向性：芸術文化の振興、交流人口拡大、アーティストの定住を目的として、開催団体と協議しながら推進していく。	●鳥取県青学校鹿野学園の6年生、7年生が、選択制により鳥非太鼓を学ぼう。意欲高まれば、鹿野町総合支所の「鹿野町地域の担手中心に鳥非踊の認知度を高め、後継者育成へとつなげる。	-	-	B.概ね達成	1.現状維持	●鳥非踊り保存会の活動支援及び学校教育と連携した継承活動 ・鹿野町総合支所 ・鹿野町地域の担手中心に鳥非踊の認知度を高め、後継者育成へとつなげる。	-	B.概ね達成	1.現状維持	●学校教育と連携した継承活動を通じ、鹿野町文化財、文化継承・後継者育成へつなげる。 ●「鹿野町地域の担手中心に鳥非踊の認知度を高め、後継者育成へとつなげる。	●鳥非踊り保存会の活動支援及び学校教育と連携した継承活動 ・鹿野町総合支所 ・鹿野町地域の担手中心に鳥非踊の認知度を高め、後継者育成へとつなげる。	-	C.未達	3.現状維持	●鳥非踊り保存会の活動支援及び学校教育と連携した継承活動 ・鹿野町総合支所 ・鹿野町地域の担手中心に鳥非踊の認知度を高め、後継者育成へとつなげる。	-	-	C.未達	3.現状維持	●鳥非踊り保存会の活動支援及び学校教育と連携した継承活動 ・鹿野町総合支所 ・鹿野町地域の担手中心に鳥非踊の認知度を高め、後継者育成へとつなげる。	本実施	後継者不足が課題となっており、次世代育成と組織基盤の安定化のため、鹿野学園での学習の復活が必要となる。	座保ライブップ見地域の増加による交通流量などオーバーツーリズムが課題であり、引き続き交通体験を行いながら、駐車場の確保や新たな対策に取り組む必要がある。	・農野総合支所 地域振興課 ・戦略・企画課 ・観光・交流課
	菅笠等の伝統継承 【魅力あふれる中山間地域の振興】	○新商品開発と後継者育成	○販路拡大、情報発信及び後継者確保	○製品の安定供給と販売量の増加	○海外菅笠市場行朝光メニューの継続した開発 ○体験メニューの拡充 ●鹿野城跡公園では、桜ライブップにも桜樹が提題となり多くの観光客が訪れるようになった。 観光ツアーは、主力の城下町ガイド、菅笠の管笠制作に魅の観光者受け入れによって商品化することができた。	●各観光商品の磨きとげ。 ●観光ツアー商品の造成、エージェントに対するツアー受け入れ態勢の整備。	●鹿野城跡公園の魅力アップと情報発信の強化 ・桜の開花状況、桜ライトアップ掲載（3月下旬～4月中旬） ・桜祭りにおける菅笠村開設および城跡ポート体験の実施（3月下旬～4月中旬） ●各種イベントの支援・造成 ・えそもん市（4/29） ・ふるさとミュージカル（6/10） ・菅ウォーク（7/16） ・わったいな祭り（9/22-23） ●西日本最大級の蓮の里整備 ・植付・抜肥・草刈（3月5回） ●果樹の豊山協議会による鳥取農園の整備にあわせた菅地型観光の推進。 ・鹿野町菅山。林間（3/22～24）	-	-	B.概ね達成	2.改善継続	●鹿野城跡公園の魅力アップと情報発信の強化 ・桜の開花状況、桜ライトアップ掲載（3月下旬～4月中旬） ・桜祭りにおける菅笠村開設および城跡ポート体験の実施（3月下旬～4月中旬） ●道の駅との連携による観光資源数の向上 ・西いちばエリアの観光パンフレットの作成、設置（1,000部）された。 ●果樹の豊山協議会による観光農園の整備にあわせた菅地型観光の推進 ・交流拠点施設として生活改善センター多目空間 ・農園周辺の農道補修のため、原材料支給制度を活用（コンクリート10m）	-	-	A.達成	2.改善継続	●鹿野城跡公園の魅力アップと情報発信の強化 ・桜の開花状況、桜ライトアップ掲載（3月下旬～4月中旬） ●鹿野町未交流館「童里夢」 ・レンタル自転車7台（うち2台は電動）やパイクラックの設置するとともに、飲料水や修理工具を無償提供するなど、快適にサイクリング観光できる環境を整備 ・鹿野城跡散策パンフ、御城印、武将印作成「鳥取市観光産業育成支援事業補助金（200千円）」 ●果樹の豊山協議会による観光農園の整備にあわせた菅地型観光の推進。 ・田用地法改善センターの建物改修「中山間地域・地域活性施設活用支援事業」4,558千円 ・交流イベント「果樹の里山まつり」の開催（10/17,18）	4,758	4,758	A.達成	3.現状維持	●鹿野城跡公園の魅力アップと情報発信の強化 ・桜の開花状況、桜ライトアップ掲載（3月下旬～4月中旬） ・紅葉ライトアップの実施、桜ライトアップ範囲の拡大、桜の開花状況掲載（3月下旬～4月中旬） ●道の駅「気楽里」、鹿野往来交流館「童里夢」との連携による観光資源数の取組み ・パンフレットの更新、各種イベントの開催支援 ・わったいな祭典、文化団体連合会の発表展示を交流館にて開催 ●果樹の里山協議会による観光農園の整備にあわせた菅地型観光の推進。 ・わったいな祭と連携した交流イベント「果樹の里山まつり」の開催 ・鳥の演劇の舞台芸術を活用した教育旅行誘致や語客イベントの開催 ・鳥の演劇の舞台芸術を活用した教育旅行誘致や語客イベントの開催 ・温泉ガストロノミーウォーキング、とれとれマルシェの開催支援	-	264	B.概ね達成	2.改善継続	●鹿野城跡公園の魅力アップと情報発信の強化 ・桜祭りのぼんぼり・ライトアップに関する住民活動の支援	●鹿野城跡公園の魅力アップと情報発信の強化 ・桜祭りのぼんぼり・ライトアップに関する住民活動の支援 ●道の駅「気楽里」、鹿野往来交流館「童里夢」との連携による観光資源数の取組み ・わったいな祭典文化団体作品展示の開催（交流館） ●果樹の里山協議会による観光農園の整備にあわせた菅地型観光の推進 ・わったいな祭と連携した交流イベント「果樹の里山まつり」の開催 ●鳥の演劇の舞台芸術を活用した教育旅行誘致や語客イベントの開催 ・温泉ガストロノミーウォーキング、とれとれマルシェの開催支援	900	900	B.概ね達成	2.改善継続	桜の名所である鹿野城跡公園のぼんぼり・ライトアップ等の事業を行う鹿野住まつりに対し、老朽化した設備の修繕・更新や、交通安全対策の強化等を支援することが、特徴的な活動を図り、市民に憩いの場を提供するとともに観光客の誘致や語客増下の施策への側面を行った。	座保ライトアップ見地域の増加による交通流量などオーバーツーリズムが課題であり、引き続き交通体験を行いながら、駐車場の確保や新たな対策に取り組む必要がある。	・農野総合支所 地域振興課 ・戦略・企画課 ・観光・交流課
③交流人口の増加																																							
	まちづくり活動組織との情報の共有を図り、効果的な情報発信や連携した取組によって、人が訪れる魅力あるまちを創出するとともに、国内観光客の誘客と併せ、日本文化体験の受入体制を整備し、海外観光客の誘客に取り組む。	○新たな魅力創出による観光客の誘致 ○地元客の受け入れ体制の整備及び日本文化体験メニューの創出などによる海外観光客誘致の検討 【現在観光の推進】	○地元は「地域振興協議会との連携による情報発信 外観光客誘致の検討	○海外観光客向け観光メニューの継続した開発 ○体験メニューの拡充 ●鹿野城跡公園では、桜ライトアップにも桜樹が提題となり多くの観光客が訪れるようになった。 観光ツアーは、主力の城下町ガイド、菅笠の管笠制作に魅の観光者受け入れによって商品化することができた。	●各観光商品の磨きとげ。 ●観光ツアー商品の造成、エージェントに対するツアー受け入れ態勢の整備。	●鹿野城跡公園の魅力アップと情報発信の強化 ・桜の開花状況、桜ライトアップ掲載（3月下旬～4月中旬） ・桜祭りにおける菅笠村開設および城跡ポート体験の実施（3月下旬～4月中旬） ●各種イベントの支援・造成 ・えそもん市（4/29） ・ふるさとミュージカル（6/10） ・菅ウォーク（7/16） ・わったいな祭り（9/22-23） ●西日本最大級の蓮の里整備 ・植付・抜肥・草刈（3月5回） ●果樹の里山協議会による鳥取農園の整備にあわせた菅地型観光の推進。 ・交流拠点施設として生活改善センター多目空間 ・農園周辺の農道補修のため、原材料支給制度を活用（コンクリート10m）	-	-	B.概ね達成	2.改善継続	●鹿野城跡公園の魅力アップと情報発信の強化 ・桜の開花状況、桜ライトアップ掲載（3月下旬～4月中旬） ・紅葉ライトアップの実施、桜ライトアップ範囲の拡大、桜の開花状況掲載（3月下旬～4月中旬） ●道の駅「気楽里」、鹿野往来交流館「童里夢」との連携による観光資源数の取組み ・パンフレットの更新、各種イベントの開催支援 ・わったいな祭典、文化団体連合会の発表展示を交流館にて開催 ●果樹の里山協議会による観光農園の整備にあわせた菅地型観光の推進。 ・わったいな祭と連携した交流イベント「果樹の里山まつり」の開催 ・鳥の演劇の舞台芸術を活用した教育旅行誘致や語客イベントの開催 ・鳥の演劇の舞台芸術を活用した教育旅行誘致や語客イベントの開催 ・温泉ガストロノミーウォーキング、とれとれマルシェの開催支援	2,545	2,107	B.概ね達成	2.改善継続	●各種イベントの支援・造成 ・えそもん市 ・菅ウォーク（9/1） ・わったいな祭り 菅笠村の名所づくり（9/16～10/1） えそもん市（5/21、10/29） 文化団体発表（10/29） 展示（10/4　～10/30） ●西日本最大級の蓮の里・ショウブ畑の拡大・整備 ・植付・抜肥・草刈り	2,352	2,294	B.概ね達成	3.現状維持	●各種イベントの支援・造成 ・菅ウォーク（7/17） ・わったいな祭り 菅笠村の名所づくり（9/16～10/1） えそもん市（5/21、10/29） 文化団体発表（10/29） 展示（10/4　～10/30） ●西日本最大級の蓮の里・ショウブ畑の拡大・整備 ・植付・抜肥・草刈り	●令和3年度からわったいな祭を補助事業に移行し、直実行けのまちの灯、えそもん市、文化団体発表、作品展示をおこない地元住民の小人さもの本来の魅力組み本実施した。 「西日本最大級のハスの里」整備による観光為る景観形成を住民と協働し、交流人口の増加の協働作業により実施した。	・農野総合支所 地域振興課
	青谷高等学校の地域学習・地域連携の取組を活かした鳥取西いなばまちづくり会社活動支援	にぎわい創出と地域経済の活性化、交流人口の拡大 【商業とサービス業等の誘致】		「西いなばの造品」商品開発																																			
	3町連携による鳥取西いなばまちづくり会社活動支援	にぎわい創出と地域経済の活性化、交流人口の拡大 【商業とサービス業等の誘致】		「西いなばの祭典」開催																																			
	鹿野地域への移住・定住を促進し地域の活力を維持するため、空き家の確保・有効活用、及び企業誘致を図る。	○空き家の有効利用 【ふるさと・いなかの応援の促進】	○賃貸借対象の空き家改修制度の調査・研究	○空き家の確保と定住促進	○空き家の確保と定住促進 移住定住空き家運営業務委託により、4年間の移住定住者は、3空家預り入でであった。	鹿野地域への移住希望者はあるものの、空き家が不足しているため、NPO法人いくんしょう鹿野まちづくり協議会と連携し、集落自治会の協力を得ながら空き家の確保に努め、さらなる移住・定住の促進を図る。	●移住定住空き家運営業務委託（NPO法人いくんしょう鹿野まちづくり協議会） ・空き家所有者との協議：7件 ・空き家片づけ：2件 ・移住相談：46件 ・移住者数：34家14名	700	700	B.概ね達成	3.現状維持	●移住定住空き家運営業務委託（NPO法人いくんしょう鹿野まちづくり協議会） ・空き家所有者との協議：7件 ・空き家片づけ：2件 ・移住相談：46件 ・移住者数：34家14名	700	700	B.概ね達成	3.現状維持	鹿野地域への移住希望者はあるものの、空き家が不足しているため、NPO法人いくんしょう鹿野まちづくり協議会と連携し、集落自治会の協力を得ながら空き家の確保に努め、さらなる移住・定住の促進を図る。	●移住定住空き家運営業務委託（NPO法人いくんしょう鹿野まちづくり協議会） ・空き家所有者との協議：2年間の移住定住者は、1家預り入であった。 ・空き家片づけ：3件 ・移住相談：46件 ・移住者数：2組5名	700	700	B.概ね達成	3.現状維持	●移住定住空き家運営業務委託（NPO法人いくんしょう鹿野まちづくり協議会） ・空き家情報収集、調査、登録、管理 ・調査件数　　12件 ・登録相談件数 13件 ・新規登録件数　6件 2年目の移住定住者 ・預金せ件数　　17件 ・成立世帯数　　4世帯8人 ●地域おこし協力隊員の雇用（1/1～、1名） 空き家中来利用の土地等の活用にむけた調査、開拓把握等	700	700	B.概ね達成	3.現状維持	空き家情報を収集し、登録管理を行った。問い合わせがあれば移住者に情報を提供し、集落自治会の協力を得ながら空き家の確保が必要。	空き家が不足しているため、いくんしょう鹿野まちづくり協議会と連携し、集落自治会の協力を得ながら空き家の確保が必要。	・農野総合支所 地域振興課 ・市民生活部 地域振興課
		公共交通空白地の解消 【交通ネットワークの充実】	○オンデマンド交通の運行事業検討	○オンデマンド交通などと利便性の高い公共交通システムを検討	○既存の気高循環バス、路線バスに共助バスを加えて、より利便性の高いの公共交通システムを検討する	気高循環バス「宝木河内線」の廃野・河内間において、一部、オンデマンド運行を開始した。また、平成29年4月から運賃、ニツ家、竜入運方面への気高循環バス運行を開始した。	オンデマンド交通などと利便性の高いの公共交通システムを検討。	各地区まちづくり協議会等と連携し地域の実情に即したオンデマンド交通など利便性の高いの公共交通システムを検討。	-	-	C.未達	2.改善継続	各地区まちづくり協議会等と連携し地域の実情に即したオンデマンド交通など利便性の高いの公共交通システムを検討。	-	B.概ね達成	2.改善継続	●運転手不足により気高循環バスの運行が危ぶまれていたが、地元運送会社が受託した。	●気高循環バスの地元運送会社による委託運行バス運行	-	B.概ね達成	2.改善継続	・気高町・鹿野町地域生活交通協議会開催 4回（4/18、8/18、11/14、2/12） ・乗合タクシー実証実験（9/30まで）、5/8～9/30まで以下延長 ・実証実験延長（9/30まで）及び気高町、鹿野町全域にエリア拡大（5/8～9/30） ・利用登録者数 11人（気高町43人、鹿野町28人）※目標100人 ・実利用39人/71人（55.0%） ・きらり号通信発行 3回（4号,7号,8号,9号）	-	-	C.未達	2.改善継続	気高町・鹿野町地域生活交通協議会立ち上げ、アンケート実施、乗合タクシーの実証実験を1年間利用促進中。協議会の意見を用いながらダイヤ改正などを行っています。また、一部地域、一部地域・地域エーズに合った生活交通について検討を重ねた。	実証実験の検証を踏まえ、現在運行中の気高循環バスの利用促進や、協議会の意見を用いながらダイヤ改正などを行っています。また、一部地域、一部地域・地域エーズに合った生活交通について検討を重ねた。	・農野総合支所 地域振興課 ・交通政策課
⑤観光業者と教育の推進